

令和 7 年度
社会福祉法人古河市社会福祉協議会
事業報告書
第 3 期古河市地域福祉活動計画 5 ヶ年目

— 目 次 —

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標・・・・・・・・・・	P 2
社協組織・・・・・・・・・・	P 3
基本目標1・・・・・・・・・・	P 4
(1) 災害時支援体制の確保・・・・・・・・・・	P 4
(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築・・・・・・・・	P 4
(3) 支え合う人づくり・・・・・・・・・・	P 6
(4) 地域福祉活動のしやすい環境づくり・・・・・・・・・・	P 8
(5) ボランティアなど地域組織への活動支援・・・・・・・・・・	P 9
(6) 地域ネットワークの構築・・・・・・・・・・	P 11
基本目標2・・・・・・・・・・	P 12
(1) 在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）・・	P 12
(2) 在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）・・・・・・・・	P 14
基本目標3・・・・・・・・・・	P 14
(1) 生活安定のための環境づくり・・・・・・・・・・	P 14
(2) 権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）・・・・・	P 17
(3) 相談体制の充実・・・・・・・・・・	P 18
基本目標4・・・・・・・・・・	P 19
(1) 適正な法人の運営・・・・・・・・・・	P 19
(2) 広報・啓発活動・・・・・・・・・・	P 22
(3) 財源の確保・・・・・・・・・・	P 23

第3期古河市地域福祉活動計画 4つの基本目標

基本目標 1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協



社協組織

執行体制（39名）

- | | | | | | |
|------|--------------|------|-----|-------|-----|
| ・会 長 | 1 名 | ・副会長 | 2 名 | ・常務理事 | 1 名 |
| ・理 事 | 10 名 | ・監 事 | 2 名 | | |
| ・評議員 | 23 名（うち3名欠員） | | | | |

職員体制（84名）

【R6 年度 87 名】

○事務局（正職・嘱託・再任用）37名【R6 年度 41 名】

- | | | | | |
|-----------|---------|-----------------|----------|-----------|
| ・事務局長 1 名 | ・次長 1 名 | ・課長 2 名（兼務 1 名） | ・副参事 1 名 | ・課長補佐 4 名 |
| ・係長 8 名 | ・主幹 5 名 | ・主事 5 名 | ・嘱託 7 名 | ・再任用 3 名 |

○臨時職員 6 名【R6 年度 7 名】

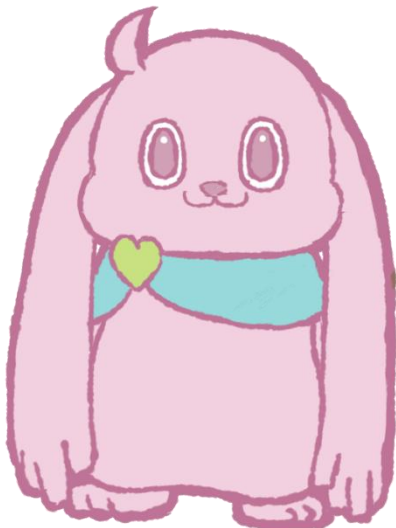
（内訳）

- | | | | |
|----------------|-----|--------------|-----|
| ・福祉総務係 | 1 名 | ・福祉支援係 | 1 名 |
| ・地域包括支援センター | 1 名 | ・生活支援センター係 | 1 名 |
| ・成年後見サポートセンター係 | 1 名 | ・地域づくり応援センター | 1 名 |

○非常勤職員 41 名【R6 年度 39 名】

（内訳）

- | | | | |
|---------|------|----------------|------|
| ・登録ヘルパー | 21 名 | ・日常生活自立支援事業支援員 | 11 名 |
| ・認定ヘルパー | 3 名 | ・デイスティ | 6 名 |



基本目標1

地域づくりのパートナー・支え合える人づくりをする社協

(1) 災害時支援体制の確保

①災害ボランティアセンターの設置・運営の実施

市内において災害が発生し、復興支援等が必要となった場合、本会が主体となり、『災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル』に沿って、同センターを設置・運営いたします。

社協役職員（災害に関する初動対応）研修・災害ボランティアセンター設置運営訓練

開催日 令和8年2月22日（日）

場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室・ホール

講 師 特定非営利法人 にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

出席者 社協役職員、関係機関 66名

内 容 災害時における役職員初動及びボランティア活動支援の資質向上を目指し、災害ボランティアセンターの設置運営に関する実践的な訓練を実施しました。

②古河市及び関係機関との連携強化

令和5年度に災害時相互応援協定を締結した、古河市を含め近隣4市町社協（結城市・小山市・野木町）等関係機関による定期的な情報交換の場を通じて、災害時における支援体制の構築に努めました。

③災害時活動用資機材整備事業「ストックヤードこが」の実施

市内の個人、団体に事前の登録を行ってもらい、災害ボランティアセンター設置運営時に必要な資機材を提供してもらうシステムです。

登録者	R7年度末	R6年度末	前年度比
個 人	0件	0件	増減なし
団 体	8件	8件	増減なし

※登録総数で表示しています。

④災害発生時の避難行動支援者名簿への登録及び避難行動計画の作成支援

災害時において配慮が必要な方に対して、「古河市避難行動要支援者個別支援計画」を作成し、災害発生時においては、要支援者の安全の確認を行い、行政機関等の関係機関と情報共有を図るよう努めます。

避難行動要支援者個別支援計画作成数 18件

⑤事業継続計画（BCP）の活用

災害等の緊急事態発生時に関し、平常時及び緊急事態発生時における社会福祉協議会の役割、体制、職員動員等を明らかにし、迅速、円滑な対策を講じ、災害や事故などで被害を受けても、重要な福祉サービスを中断させない、又は中断したとしても可能な限り早急に再開できるよう『事業継続計画（BCP）』を活用します。

(2) 小地域福祉活動の推進・見守りシステムの構築

①生活支援体制整備事業（マスコットキャラクター「らぶちゃん」）

高齢者の自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防または軽減、悪化の防止を図るため、高齢者の生活支援及び介護予防に係る支援体制の整備を推進することを目的とする事業です。

第1層協議体（地域生活支えあい会議）の開催（全4回開催）

地域課題の抽出や課題に対しての取組の創出について、主にグループワークの手法で話し合いを実施をしました。

	開催日	内容	参加人数
第1回	6月20日 (金)	委嘱状交付、自己紹介、事業説明 第2層協議体の現状について、地域課題等の共有	22名
第2回	9月11日 (木)	①移動や買い物に関して、必要な取組について ②買い物ツアーを地域で広げるために	18名
第3回	12月19日 (金)	①古河市で移動販売車は必要か？ ②どんな場所に移動販売車が必要か？	24名
第4回	3月13日 (金)	①もし、古河市に移動販売がくる場合具体的な地域はどこ？ ②古河市の地域課題について	22名

②新たな地域での見守りシステムの構築

第2層協議体の開催

※各回数については第1層コーディネーターが会議に参加した回数。

第7地区、第15地区は第2層コーディネーターを中心に活動されています。

行政自治会 区分地区	第2層協議体名	R7年度	R6年度
第6地区	ほっこり6区	4回	4回
第7地区	カフェいこい カフェ鴻巣	※	
第9地区	SUN9サロン	10回	11回
第15地区	いいかげん	※	



第2層協議体設置に向けた勉強会の開催

地域の実情に合わせて支えあうシステムの構築を目指し、支えあいの地域づくりについて共に考える機会として、市民向け講演会を開催しました。

【地域支えあい講演会&お宝発表会】

開催日 令和8年3月7日(土)

参加者 102名

講師 池田昌弘氏

(特定非営利活動法人CLC理事長)

内容 「あなたの身近にもきっとある 地域のお宝！」

※お宝発表会は生活困窮者等のための地域づくり事業の取組。



地域支えあい講演会&お宝発表会

③生活困窮者支援等のための地域づくり事業

地域におけるつながりの中で、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民による「居場所づくり」や地域住民の相談を丸ごと受け止め解決する多様な担い手づくりを支援し、地域の課題の解決や多様な担い手が連携する仕組みづくりに努めました。

また、生活困窮者世帯へ見守り訪問し、生活状況の確認と食材等を配布しました。

令和7年度フードバンクにおける食料配布実績：200件

(内アウトリーチによる支援 125件)

④日常的な見守り活動の充実

2層協議体やいきいきサロン、各社協窓口及び高齢者サポートセンター、生活支援センターに寄せられた相談についても、必要に応じて専門機関に繋ぎ対応いたしました。

また、各社協窓口及び高齢者サポートセンター、生活支援センター、ふれあいいきいきサロン等に身近な地域におけるふくしの相談窓口として、『地域のふくし相談窓口』ののぼり旗を設置しました。

⑤地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域の繋がりづくりを通じた助け合い活動や居場所づくりを推進するために、地域の「居場所」や「たまり場」のような場所として、コマーシャルベンチを設置しました。

・新規設置箇所 1カ所（鴻巣自治会館）



コマーシャルベンチ

（３）支え合う人づくり

①児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及に取り組みました。また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を推進するため、補助金を支給しました。（上限額：30,000円）

補助金合計 941,000円（33校） 【R6年度 956,000円（33校）】

（内訳）

- ・小学校 23校（30,000円21校、10,000円1校、辞退1校）
- ・中学校 9校（30,000円9校）
- ・中等教育学校 1校（辞退1校）
- ・高等学校 5校（1,000円1校、30,000円1校 辞退3校）
- ・専門学校 4校（辞退4校）

②社協出前講座「ももちゃん寺子屋教室」の実施

- ・社協ってなに？
～社協について学びませんか？～ 5件 【R6年度 2件】
- ・在宅での介護方法について 0件 【R6年度 1件】
- ・高齢者のよろず相談窓口
～地域包括支援センターを知っていますか？～ 2件
【R6年度 3件】
- ・認知症講座 3件 【R6年度 6件】
- ・ボランティアを始めよう！ 1件 【R6年度 1件】
- ・成年後見制度について 1件 【R6年度 2件】
- ・ヤングケアラーについて 0件 【R6年度 1件】
- ・高齢者疑似体験・車椅子体験 2件 【R6年度 1件】
- ・災害ボランティアセンターについて 1件
- ・介護保険制度について 1件



③学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

ボランティア活動に関心のある中学生以上の学生によって組織され、代々活動が受け継がれています。市で行う行事やふくしまつりをはじめ、子ども会行事への協力を行っています。

・会員数 28名 【R6年度 19名】

<自主活動>

- ・夏期育成研修会
令和7年6月28日（土）～29日（日）
さしま少年自然の家
- ・春期育成研修会
令和8年3月21日（土）
さしま少年自然の家



春期育成講習会

- ④ふくしチャレンジスクールの開催
ボランティア体験月間にあたる夏休みを
利用した体験学習を通して、自立性・協調性を
培うと共に福祉への興味・関心を高め、
ボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを
目的に実施しました。

行っちゃオ！2025(3・4年生)

開催日 令和7年7月31日(木)
参加者 27名
内 容 埼玉防災センターそなえ
埼玉西部クリーンセンター

やっちゃオ！2025(5・6年生)

開催日 令和7年8月8日(金)
場 所 さしま少年自然の家
参加者 29名
内 容 うどん打ち・プラネタリウム
パラスポーツ・キャンプファイヤー



行っちゃオ！2025～防災館体験～



やっちゃオ！2025～車椅子バスケット～

⑤地域サポーター養成講座(入門編・実践編)の開催

複雑・多様化するニーズに対応するため、市民と共に支援する仕組みづくりが重要となります。
住み慣れた地域での暮らしをサポートするための人材を育てることを目的に、福祉の基本を学
び、質の高い人材を養成し確保するために実施しました。

開催日 令和7年8月29日(金)
会 場 三和地域福祉センター
受講者 6名
内 容 ・社協って何？社協概要と事業について
・地域サポーターに求められる活動とは
・ボランティアって何？
・生活にお困りの方への支援について
講 師 社協職員



～講義風景～

開催日 講義：令和8年2月17日(火)
会 場 三和地域福祉センター
参加者 12名
内 容 ・地域サポーターの活動とは？
・ボランティアって何？
・地域での支え合い実践事例
・地域できることを考えてみよう！
講 師 社協職員



～グループワーク風景～

⑥認知症サポーター養成講座の開催

地域包括支援センターの職員が講師として市内の小中高等学校へ出向き実施いたしました。

【地域包括支援センター古河担当地区】(延べ受講者数220名)

実施日	受講者	人数
令和7年 7月 11日(金)	古河第五小学校6年生	23名
9月 17日(水)	古河第四小学校6年生	48名

12月15日(月)	古河第一小学校5年生	51名
12月17日(水)	古河第二小学校5年生	70名
令和8年 3月 6日(金)	古河第二高等学校2年生	28名

⑦古河市認定ヘルパーの養成

古河市では、平成29年4月より介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、高齢者を支える担い手の整備が必要となりました。

古河市の委託事業である「生活支援体制整備事業」の一環として、年2回養成講座を実施し、「古河市認定ヘルパー」を養成することで、担い手の確保と市内業者での活躍につなげました。

開催日	開催場所	受講者	内容
第17回 令和7年 7月23日(水) ～24日(木)	地域づくり 応援センター	10名	①介護保険制度の概要 ②高齢者の心と体に関する理解 ③家事応援訪問サービスで行うことができない行為 ④家事応援訪問サービス従事者としての心得や倫理
第18回 令和7年12月11日(木) ～12日(金)	地域づくり 応援センター	11名	

(4) 地域福祉活動のしやすい環境づくり

①ボランティア活動への参加促進

ももちゃんフードBOX事業

公共施設等への「ももちゃんフードBOX」設置や、各種イベント等でフードドライブを実施し、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

＜収集実績＞設置箇所：6か所

フードボックス設置場所	R7	R6
古河福祉の森会館	41件 149.4 kg	49件
古河総和福祉センター健康の駅	36件 118.2 kg	43件
古河三和地域福祉センター	23件 465 kg	16件
古河市役所古河庁舎	48件 152.9 kg	49件
古河市役所総和庁舎	29件 77.15 kg	25件
古河市役所三和庁舎	22件 63.7 kg	12件
合 計	199件 1026.35 kg	194件

※集計方法を変更しました。(個数 ➡ 回収件数)

＜主な支援先＞

生活にお困りの方や市内の福祉施設、子ども食堂、児童クラブ、その他市内小中学校等

ももちゃんフードドライブの実施

実施期間 令和7年8月8日(金)～29日(金)

食糧支援のための食品をお預かりしました。一部はフードパントリーに活用させていただきました。

②企業の社会貢献活動等の促進

市内の企業や団体の皆様から食品を提供していただき、必要とされている皆様にお配りしています。

また、フードパントリーやミニフードパントリーでは、生活にお困りの方、ひとり親世帯の方などに、お配りしています。



フードパントリーの実施

開催日 令和7年9月27日(土)
会場 三和地域福祉センター
配布数 91世帯
配布品 パン、飲料、レトルト食品、菓子、日用品等



ミニフードパントリーの実施

開催日 令和8年2月21日(土)
会場 三和地域福祉センター
配布数 70世帯
配布品 パン、飲料、レトルト食品、菓子、米等

【協賛企業及び団体(順不同・敬称略)】

(株)ギンビス古河工場、古河ヤクルト販売(株)、
ジャパンフリトレ(株)JA 茨城むつみ、戸井乳業(株)、
トモエ乳業(株)、山崎製パン(株)古河工場
ヤマザキビスケット(株)、日野自動車(株)古河工場親和会、
京三電機(株)、(株)マルハン古河北店、
(株)ダイナム、(株)大橋醤油店



フードパントリー(三和地域福祉センター)

不要入れ歯回収事業

入れ歯を精製し、取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わります。
その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付(換金額の40%)され、ボランティア活動に役立ちます。

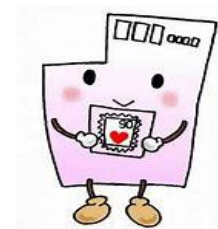
・収益金 61,436円【R6年度 なし】

寄付の受け入れ

寄付金の他に主な物品の預託としては、使用済み切手・プリペイドカード
ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に預託される方のほか、企業の
社会貢献活動の一環として車椅子等を預託していただきました。

・受入れ合計 173件 【R6年度 214件 2,948,733円】

・金額合計 3,382,774円



(5) ボランティアなど地域組織等への活動支援

① ボランティアセンターの機能強化

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、市民一人ひとりが安心して暮らすことのできる福祉コミュニティ作りを目的としています。

ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行いました。また、ボランティア活動情報の収集、提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

登録・活動申込

・団体登録数 58団体(会員1,964名) 【R6年度 58団体(会員1,978名)】

・コーディネート件数 40件 【R6年度 22件】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人またはボランティアグループなどがボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任に備え、加入事務手続きを行いました。

・登録件数 個人22件
団体60件

古河福祉の森会館ボランティア市民活動センターの設置・運営

・利用回数 199日 【R6年度192日】

②社協登録ボランティア団体等への運営援助（地域食堂等）

1) 社協登録ボランティア団体 35団体 【R6年度 34団体 1,739,750円】

・社協登録ボランティア（一般） 25団体 970,000円

・子ども食堂（地域食堂） 10団体 830,000円

2) その他の関係団体 【R6年度 15団体 3,318,000円】

・古河市民生委員児童委員第1地区協議会 255,000円

・古河市民生委員児童委員第2地区協議会 190,000円

・古河市民生委員児童委員第3地区協議会 323,000円

・古河市民生委員児童委員第4地区協議会 168,000円

・古河市民生委員児童委員第5地区協議会 132,000円

・古河市身体障害者(児)福祉団体連合会 550,000円

・古河市中心身障害児(者)父母の会連合会 300,000円

・古河市青少年相談員連絡協議会 50,000円

・古河市子ども会育成連合会 200,000円

・古河市母子寡婦福祉連合会 150,000円

・古河市ボランティア協会 700,000円

・古河市老人クラブ連合会 300,000円

・更生保護女性会古河支部 50,000円

・古河市聴覚障害者協会 30,000円

14団体合計 3,398,000円

③ボランティア活動の情報収集拡大・充実

ホームページや社協だよりにおいて情報発信やボランティア活動の募集等を行いました。

④ボランティア講座等の実施

おもちゃドクター養成講座

開催日 令和8年3月5日（木）

会場 古河市福祉の森会館

受講者 8名

内容 こわれたおもちゃを修理する活動を通して、子どもたちの物を大切にする心を育み、おもちゃドクターとして活躍できる人材を養成



おもちゃドクター養成講座

⑤地域福祉活動マイスター認定制度の実施

社協が実施した各講座の参加者や地域福祉活動実践者へボランティアパスポートを配布し、各段階の活動回数に応じて「ももちゃんピンバッジ」贈呈し、継続的なボランティア活動への支援に繋がりました。



ももちゃんピンバッジ
～ワンスター～

累計	ワンスター	ツースター	スリースター	フォースター	シルバー	ゴールド
	515名	271名	232名	4名	4名	2名

⑥古河市老人クラブ連合会への活動支援（市支援金手続き支援業務等）

明るい長寿社会づくりと保健福祉の向上を目指し、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織としての事務局運営を支援しました。

・市内老人クラブ数 62クラブ 【R6年度 69クラブ】

(6) 地域ネットワークの構築

①各種関係団体の連携強化

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域において多職種相互の協働等による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの実現を目指し、地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

【介護支援専門員との連携（相談・同行）地域包括支援センター古河担当件数】

地 区	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
古河地区	5 5 件	5 2 件	3 件増

専門職からの在宅医療・介護に関する相談業務

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関や介護事業所等の専門職からの相談に応じ、関係者間の連携・協働の体制づくりに努めました。

【関係機関からの相談（医療機関等）地域包括支援センター古河担当件数】

地 区	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
古河地区	8 8 件	8 7 件	1 件増

②地域福祉ネットワークの構築

買い物支援の取り組み

第1層協議会「地域生活支えあい会議」の中で福祉課題の抽出、課題解決の手段について検討し取り組みの具体化を試みました。生活支援体制整備事業の一環で「外出（通院・買い物・趣味活動）に関するアンケート」を実施して結果から次年度の「（仮称）ボランティアドライバー養成研修」の実施に向けた企画や「移動販売」の必要性を第1層協議体において協議をしました。

- ・アンケート名 「外出（通院・買い物・趣味活動）に関するアンケート」
- ・対象者 いきいきサロン・ひとり暮らし高齢者会場型デイサービス利用者、第2層協議体メンバー、介護認定調査（新規・継続）を受けた方、包括支援センター・市内居宅介護事業所利用者
- ・回答数 1, 5 7 4 名

③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

アウトリーチ支援強化事業

本事業は、『ひきこもり』や、『8050』問題の当事者等、複雑、複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない方に必要な支援を届けるための事業です。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
相談受付件数	3 5 1 件	2 5 3 件	9 8 件増
プラン作成件数	5 件	4 件	1 件増

基本目標 2

支援を必要としている人を包括的、重層的に支える社協

(1) 在宅福祉サービスの充実・支援（高齢者・介護保険事業）

①ひとり暮らし高齢者会場型デイサービス事業

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、引きこもりの防止と介護予防を目的に各公民館等において各地区民生委員の協力をいただき実施。さらに、ボランティア同士の交流会、研修会も実施しました。

実施会場 中田公民館（月1回） 【R6年度 1会場 148名】

利用者累計 172名

②ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に企画運営をし、人と人とを結ぶ交流の場、居場所づくり・仲間づくりの場を目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動、開設についての助言を実施しました。

助成金 20,000円（一律）

サロン数 47サロン 【R6年度 56サロン】

（内訳）古河地区 25サロン 【R6年度 27サロン】

総和地区 11サロン 【R6年度 13サロン】

三和地区 11サロン 【R6年度 16サロン】



③在宅福祉サービスセンター「ももちゃんお助け隊」運営事業

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがある家庭や、子育て中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。「ももちゃんお助け隊」と愛称を付けて実施いたしました。

・利用会員利用者（延べ）321名 【R6年度 365名】

・協力会員活動者（延べ）119名 【R6年度 130名】

・支援回数 970回 【R6年度 1,057回】

・支援時間 1,191時間 【R6年度 1,350時間】

④居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護認定を受けた方の介護度や心身の状態に応じて、適切なサービスが受けられるよう、古河市やサービス事業所等との連絡調整を重ね、適正なケアプラン作成に努めました。

また、要介護や要支援になった方が、住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、各種研修会に積極的に参加し、援助に関する専門家としてのスキルアップを図りました。

《延べ利用者数》

	R7年度	R6年度	前年度比
居宅介護支援	1,342名	1,410名	68名減
介護予防支援	491名	240名	251名増

⑤訪問介護事業（介護保険事業）

介護認定を受けた高齢者等に対し、入浴・排泄・食事の介助、生活支援サービスを提供しました。

高齢者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるように留意しました。また、特定事業所として社協内研修の実施や各種研修会に積極的に参加しました。

《延べ利用者数》

	R7年度	R6年度	前年度比
訪問介護事業	2,973名	3,571名	598名減
総合事業	5,291名	2,217名	3,074名増

⑥家事育児訪問支援事業

家事・育児等に対して不安や負担を抱える妊産婦および子育て世帯において、親族等の支援がなく心身の不調により家事や育児を行うことが困難な世帯に対して、ヘルパーを派遣し家事や育児の一部を支援しました。

《延べ利用者数》

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
家事支援	3 6 5 名	1 4 4 名	2 2 1 名増

⑦自動車運送（移送サービス）事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯する通院等乗降介助業務のため、道路運送法における有償運送の許可を取得し、要介護者の移送を実施しています。

《延べ利用者数》

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
自動車運送回数	2 9 8 回	3 6 3 回	6 5 回減

⑧地域包括支援センター事業（古河地区）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、保健・医療・介護・福祉の専門職を配置し、下記の事業に取り組みました。

1) 介護予防・日常生活支援総合事業及び指定介護予防支援に関する業務

要支援認定者に対して、自立した生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を勘案した介護予防サービス計画を作成するとともに、その提供のために介護予防サービス事業者等との連絡調整を行いました。

【介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援計画作成件数】

ケアプラン作成数		R 7 年度	R 6 年度	前年度比
古河	センター作成	1, 4 8 1 件	1, 4 1 7 件	6 4 件増
	委託事業所作成	5, 5 8 6 件	5, 2 4 9 件	3 3 7 件増
	合 計	7, 0 6 7 件	6, 6 6 6 件	4 0 1 件増

2) 認知症高齢者行方不明等対応業務

高齢者の行方不明事案が発生した際に、警察署や市、関係機関と連携し、家族に認知症への対応についての助言や、介護保険サービスの利用につなげるなど、再発防止に努めました。

【行方不明及び身元不明の対応】

地区	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
古河	7 件	1 4 件	7 件減

3) 地域ケア個別会議の開催（古河地区年 6 回開催）

高齢者の実態把握や課題解決にあたり、多職種の専門職による検討会議を 6 回開催し、1 2 事例を検討、総合調整を図りました。

⑨福祉用具（車椅子等）の貸出

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
車椅子	2 5 6 件	2 8 4 件	2 8 件減
介護用ベッド	2 5 件	3 0 件	5 件減

⑩福祉体験学習備品の貸出

企業やサロン、各種イベント、小中学校における福祉体験学習等の支援（高齢者疑似体験セット、体車椅子、白杖等の貸出）を行っています。

令和 7 年度 27 件 【R6 年度 6 件】

(2) 在宅福祉サービスの充実・支援（障がい者）

① デイステイ事業

障害児(者)を介護している家族等が一時的に家庭においての介護が困難になったときに、障害児(者)を一定時間預かり家族の負担軽減を図るため、支援スタッフが身の回りの世話や援助のサービス提供を行いました。

＜実施施設：「のぞみ」古河福祉の森会館＞

のぞみ	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
実施日数	2 4 4 日	2 1 5 日	2 9 日増
利用者累計	3 9 8 名	3 2 8 名	7 0 名増
利用時間累計	1 0 2 4 時間	8 5 1 時間	1 7 3 時間増
支援スタッフ(延べ)	5 2 5 名	4 0 2 名	1 2 3 名増

＜実施施設：「さんわ」古河市三和地域福祉センター＞

令和 7 年度は利用者なし。【R6 年度 0 件】

② 指定居宅介護事業（自立支援事業）

在宅で生活されている障がいのある方に対して、入浴・排泄・食事の介護並びに家事支援サービスを提供しました。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
指定居宅介護事業	1 6 8 名	1 6 5 名	3 名増
同行援護	1 5 8 名	2 2 1 名	6 3 名減
重度訪問事業	0 名	0 名	増減なし

③ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

障がいのある方が有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、相談及びサービス等利用計画書を作成し、効率的に提供されるように支援しました。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
指定相談支援事業（障がい者）	2 5 件	1 1 件	1 4 件増
指定相談支援事業（障がい児）	3 8 件	3 2 件	6 件増

基本目標 3

社会的弱者に寄り添い、権利擁護を推進する社協

(1) 生活安定のための環境づくり

① 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、相談者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認しながら個々の状態にあった支援プランを作成し、関連事業や関係機関との連携を行いました。

自立相談支援事業

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
新規相談受付件数	3 1 4 件	2 8 1 件	3 3 件増
プラン策定件数	1 8 件	1 3 件	5 件増
一般就労者件数	3 3 件	3 2 件	1 件増

住居確保給付金事業

離職等により経済的に困窮し、住居喪失、又は住居喪失の恐れのある相談者し、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、住居と就労機会の確保に向けた支援を行いました。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
住宅確保金決定件数	1 件	2 件	1 件減
うち常用就職件数	1 件	2 件	1 件減

家計改善支援事業

家計の見直しを行いながら、困窮世帯の家計管理能力の向上を図り、早期に生活を再生させる支援を行いました。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
家計相談利用件数	2 4 件	1 5 件	9 件増
家計再生プラン策定件数	1 5 件	1 1 件	4 件増

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（別記）

※基本目標 1（6）地域ネットワークの構築 ③コミュニティソーシャルワーク機能の強化

③ヤングケアラー支援体制強化事業

ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、関係機関の職員、教職員等を対象とした研修会を開催すること等により、ヤングケアラーを早期に発見、把握できるようにします。

そして、ヤングケアラーへの支援体制の強化を図り、ヤングケアラーやその家族も含めた支援が適切に実施されるようにすることを目的とします。

＜研修会開催の実績＞

【教員向けヤングケアラーに関する研修会】

開催日 令和 7 年 8 月 21 日（木）・8 月 22 日（金）

場 所 ユーセンターKI 防水

参加者 2 日間で 66 名（市内小中学校、高等学校、
中高一貫教育学校、教育支援センターのうち 40 ヶ所が参加）

内 容 ・ヤングケアラーの支援の流れ・壁
・グループワーク



教職員向け研修

【ヤングケアラーに関する講演会】

開催日 令和 8 年 3 月 20 日（金）

参加者 98 名

場 所 ユーセンターKI 防水

講 師 北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 松澤 明美氏
高橋 唯 氏

内 容 ・ヤングケアラーの実態や地域での支え方
・当事者からの経験談



ヤングケアラーに関する講演会

〈ヤングケアラー実態調査〉

調査目的 個人を特定できる任意の記名式で、ヤングケアラーを早期に発見し、現状や課題などの実態把握を行い、具体的な支援に繋げる。

調査対象 市内在学の小・学 5 年生・中・学 2 年生・高・校 2 年生

対象者数 3, 2 9 7 名

回答者数 2, 3 4 9 名

調査期間 令和 7 年 1 1 月 2 5 日（火）～ 1 2 月 1 0 日（水）

回答後の対応

各学校へ調査報告書を送付。ヤングケアラーの疑いのある児童・生徒が在籍する学校へ訪問し、聞き取りを行い、学校と対応方法を検討する。高等学校5校へ訪問。

＜ヤングケアラー支援体制強化事業での支援実施件数＞

※研修実施後に関係機関から支援の要請を受けたことにより、対象者への支援を開始しました。
教育委員会・学校・関連事業所・ボランティア等と支援体制を構築し、支援にあたっています。

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
支援の要請	4 件	1 件	3 件増
支援の実施	4 件	1 件	3 件増

④生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯をはじめ、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対して、世帯の自立に向けた支援を目的とした貸付相談に対応しました。

【生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務事務】

償還免除を行った借受人、償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への架電や訪問等でフォローアップ支援を行いました。

- ・償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援
7 4 3 件（延べ） 内訳：受架電 6 7 3 件、訪問 3 0 件、来所 4 0 件
把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数 3 0 件（実数）
- ・償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援
5 件（実数）記載援助、償還免除案内
- ・償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援
1 9 1 件（延べ） 内訳：受架電 1 6 1 件、訪問 4 件、来所 2 6 件
把握後に自立相談支援機関に繋いだ件数 4 2 件（実数）
- ・その他の支援
6 1 件（延べ）
内容：新規貸付・住居確保給付金・家計改善支援・食料支援・就労支援・書類確認
償還方法変更・氏名等変更・生活保護・アウトリーチ・生活相談対応等

⑤生活一時資金貸付事業

本会の自主事業で、低所得世帯等に対する支援を目的とした貸付相談に対応しました。

- ・貸付相談件数 3 6 1 件（延べ）
- ・償還完了件数 2 件 1 0, 0 0 0 円
- ・償還免除件数 3 件 9 0, 0 0 0 円

⑥緊急生活支援対策事業（お米券等の配布等）

古河市における生活困窮者等に対する支援の一環として、緊急的な対応を必要とする世帯に対し、緊急支援を行ないました。

- ・救援物資支給 5 件 ・支給対象額 2 1, 0 0 0 円

⑦行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまった方を対象とした援助を行いました。（2 0 0 円）

- ・4 件 8 0 0 円 【R6 年度 6 件 1,200 円】

⑧風水震火災被災者に対する援助

火災 全焼 20,000円、半焼 10,000円のお見舞い
・全焼 4件 ・半焼 2件 【R6年度 全焼6件・半焼1件】

(2) 権利擁護の充実（成年後見サポートセンターの拡充）

①日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活的な金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。

	R 7 年度末	R 6 年度末	前年度比
支援中	18件	17件	1件増
新規契約	7件	5件	2件増
契約終了	6件	6件	増減なし

②成年後見制度の利用推進と中核機関機能の強化

認知症や障害などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度を円滑に利用できる支援を行い、擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることを目的とします。

<成年後見制度の利用に関する相談>

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
問合せ	214件	140件	74件増
申立相談支援	137件	115件	22件増
利用中の支援	7件	8件	1件減

<成年後見制度の利用に関する手続き支援>

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
申立支援実人数	13件	27件	14件減

<市民後見人の選任>

	R 7 年度	R 6 年度	前年度比
人数	1人	1人	増減なし

<市民後見人の育成に関すること>

【市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修及び情報交換会】

開催日 令和7年11月20日(木)
場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室及びボランティアセンター
参加者 研修14名 情報交換会9名
内 容 ・研修：『日常生活自立支援事業及び成年後見制度の基礎』
・情報交換会：記録の書き方及びグループワーク
講 師 古河市社会福祉協議会 大山智江、落合ひかり

<中核機関に関すること>

【古河市成年後見地域連携協議会】

開催日 令和7年9月16日(火)
場 所 古河市総和福祉センター健康の駅 2階 視聴覚室
出席者 16名(司法関係者、福祉関係者、医療関係者、金融関係者、行政関係者)
内 容 ・協議 古河市における成年後見制度の課題
～司法、福祉、医療、金融、行政、中核機関の視点から～

【成年後見中核機関福祉関係者向け研修会】

開催日 令和8年2月18日(水)

場 所 古河福祉の森会館 視聴覚室

参加者 40名(居宅介護支援事業所、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、障がい福祉相談支援事業所、医療機関、行政機関)

内 容 ・成年後見サポートセンターこが・日常生活自立支援事業業務概要説明
・成年後見制度の概要

講師 茨城県社会福祉協議会 ぱあとなあいばらき
合同会社 優志 坂口 節子氏

<日常生活自立支援に関すること>

【生活支援員研修】

開催日 令和7年11月17日(月)

場 所 茨城県トラック協会 2階 研修室

参加者 8名

内 容 ・講義「キャッシュレス決済の基礎知識と対応のポイント」
・説明「日常生活自立支援事業におけるキャッシュレス決済の利用について」
・情報交換会「生活支援員として活動する上での課題・悩みについて」

③法人後見事業の実施<受任者数>R7年度末

適切な後見人がいない方等に対し、当法人が後見人等を受ける事業です。

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計
	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	
後見等	4	2	0	0	4	0	0	0	10
後見監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0
任意後見契約									1
									11

(3) 相談体制の充実

①相談支援体制の充実(地域包括支援センター事業の一部)

総合相談支援業務、権利擁護業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、必要な支援を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。

相談件数	R7年度	R6年度	前年度比
古河地区	2,958件	2,366件	592件増

生活困窮・権利擁護等の支援センターの設置・運営

「古河市生活支援センター」と「成年後見サポートセンターこが」を総和地区の「たんぽぽ館」へ移転しました。

上記事業を同事務所にすることで、生活困窮者や権利擁護が必要な方へのワンストップ支援が出来る体制を整備しました。

②心配ごと相談事業

開催日 毎週水曜日 午後1時30分～3時30分

場 所 古河福祉の森会館、三和地域福祉センター

相談件数累計 19件【R6年度 14件】

相談内容 ・家族、土地、金銭問題、将来のこと等



③苦情解決体制の充実

苦情解決第三者委員会 【R6 年度 1 回開催】

開催日 令和 7 年 1 0 月 1 7 日（金）午後 3 時
場 所 三和地域福祉センター 相談室
出席者 苦情解決第三者委員 2 名 事務局 4 名
報告件数 3 件

基本目標 4

新たな福祉ニーズに柔軟に対応し、次世代へと信頼をつなぐ社協

（1）適正な法人の運営

①地域福祉活動計画の推進

「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉活動計画に沿った各事業を行いました。

②事務局体制の充実

理事会・評議員会・監事会・各委員会の開催

1）理事会（全 4 回） 【R6 年度 4 回開催】

【第 1 回】

開催日 令和 7 年 6 月 9 日（月）午後 1 時 3 0 分
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事 1 3 名 監事 2 名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
- ・古河市社会福祉協議会監事候補者の推薦について
- ・古河市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
- ・古河市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- ・令和 6 年度古河市社会福祉協議会第 4 次補正収支予算専決処分の報告及び承認を求めることについて
- ・令和 6 年度古河市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和 6 年度古河市社会福祉協議会収支決算について
- ・古河市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
- ・令和 6 年度古河市社会福祉協議会第 1 次補正収支予算について
- ・評議員の招集事項について
- ・評議員選任解任委員会の招集事項について

【第 2 回】

開催日 令和 7 年 6 月 2 4 日（火）午後 3 時
会 場 古河福祉の森会館 研修室 4 号
出席者 理事 1 3 名 監事 2 名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会会長の選任について
- ・古河市社会福祉協議会副会長の選任について
- ・古河市社会福祉協議会常務理事の選任について
- ・古河市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- ・古河市社会福祉協議会会長の補佐の順位について
- ・古河市社会福祉協議会専門委員会の組織について

【第3回】

開催日 令和7年9月8日（月）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事11名 監事2名
議 事

- ・職務執行状況の報告について
- ・第1回共同募金配分委員会の報告について
- ・令和7年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について
- ・評議員会の招集事項について

【第4回】

開催日 令和8年3月10日（火）午後3時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 理事12名 監事2名
議 事

- ・令和7年度社会福祉法人一般検査結果報告について
- ・職務執行状況の報告について
- ・第2回共同募金配分委員会の報告について
- ・第1回福祉事業推進委員会の報告について
- ・古河市社会福祉協議会職員給与等に関する規程の一部改正について
- ・令和8年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和8年度古河市社会福祉協議会収支予算について
- ・令和8年度役員等賠償補償責任保険契約について
- ・評議員会の招集事項について

2) 評議員会（全3回）【R6年度3回開催】

【第1回】

開催日 令和7年6月24日（火）午後1時30分
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員17名
議 事

- ・古河市社会福祉協議会理事の選任について
- ・古河市社会福祉協議会監事の選任について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会第4次補正収支予算専決処分の報告及び承認を求めることについて
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和6年度古河市社会福祉協議会収支決算について
- ・令和7年度古河市社会福祉協議会第1次補正収支予算について

【第2回】

開催日 令和7年9月25日（木）午後2時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員14名
議 事

- ・令和7年度古河市社会福祉協議会第2次補正収支予算について

【第3回】

開催日 令和8年3月25日（水）午後1時30分
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 評議員16名
議 事

- ・令和8年度古河市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和8年度古河市社会福祉協議会収支予算について



3) 監事会 (全1回) 【R6 年度1回開催】

開催日 令和7年5月7日(水) 午前9時
 会 場 社会福祉協議会 相談室
 出席者 監事2名
 内 容 ・令和6年度の監査について

4) 評議員選任・解任委員会 (全1回) 【R6 年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和7年6月9日(月) 午後3時30分
 会 場 古河福祉の森会館 研修室6
 出席者 評議員選任・解任委員5名
 議 事 ・古河市社会福祉協議会評議員の選任について

5) 共同募金配分委員会 (全2回) 【R6 年度2回開催】

【第1回】

開催日 令和7年8月19日(火) 午後2時
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員5名
 議 事 ・委員長、副委員長の選任について
 ・令和7年度歳末たすけあい事業配分について
 ・共同募金配分金「福祉団体助成金」の見直しについて

【第2回】

開催日 令和7年11月28日(金) 午前10時
 会 場 古河福祉の森会館 研修室5
 出席者 委員5名
 議 事 ・令和7年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分対象者及び歳末地域たすけあい事業配分対象団体の決定について
 ・令和7年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額及び、歳末地域たすけあい事業配分金額の決定について

6) 福祉事業推進委員会 (全1回) 【R6 年度1回開催】

開催日 令和8年1月22日(木) 午前9時30分
 会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
 出席者 委員4名
 議 事 ・令和8年度地域福祉課の機構変更について
 ・古河市福祉車両貸付事業の受託について

7) 役員(理事・監事)研修 (全1回) 【R6 年度1回開催】

開催日 令和8年2月22日(日) 午後1時20分
 場 所 古河福祉の森会館1階大ホール
 出席者 役員12名
 内 容 災害ボランティアセンター設置・運営訓練)

8) 法人後見運営委員会 (全4回) 【R6 年度2回開催】

原則2ヶ月に1回(偶数月の第4木曜日)開催。案件等がない場合は中止

	実施年月日	協議内容
第1回	令和7年 4月24日(木)	委員委嘱、前年度報告
第2回	令和7年 8月28日(木)	法人後見受任審査
第3回	令和7年10月23日(木)	法人後見受任審査
第4回	令和8年 2月26日(木)	法人後見受任審査

③職員研修の実施（全3回）

新入職員研修

開催日 令和7年4月7日（月）～11日（金）
場 所 株坂東太郎
出席者 新入職員2名
内 容 社会人としての接遇マナーを身につける

ハラスメント講習会

開催日 令和8年1月14日（水）・15日（木）
場 所 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 全職員
内 容 職員のハラスメントに対する意識の向上

災害に関する初動対応研修

※基本目標1（1）災害時支援体制の確保①災害ボランティアセンターの設置・運営の実施

（2）広報・啓発活動

①社協だよりの発行

年間4回（6月1日、10月1日、12月1日、3月1日）
・作成数 45, 200部
・配布先 古河市内全戸、関係機関等

②ホームページの公開

社協ホームページの中に「ももちゃんブログ」を開設し、
社協活動の画像を公開することでPRをしています。

ホームページアドレス URL <https://www.koga-syakyo.com/>

	R7年度	R6年度	前年度比
総閲覧者数	131,512件	119,321件	12,191件増

（平成23年6月開設）



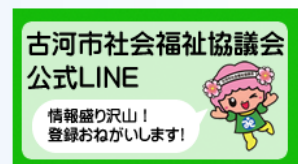
③SNSを活用した情報発信

LINE

古河社協登録者数95名（19名増）
情報発信7回【R6 7回】
地域づくり応援センター登録者数116名（R7開設）
情報発信2回

Instagram

フォロワー258名（166名増）
情報発信49回【R6 9回】



④ふくしまつり・イベントの開催

第4回ふくしまつりの開催

福祉に関する映画上映とボランティア団体や企業による
模擬店を実施しました。

開催日 令和7年11月22日（土）
会 場 ゴヨーふれあいスポーツセンター
参加団体 27団体
映画鑑賞者 195名
内 容 映画上映、福祉体験、模擬店、バザー等



第4回ふくしまつり

K o g a インクルーシブフェスティバルの協賛

開催日 令和7年11月30日（日）
場 所 共和電設とねミドリ館
内 容 講演会・表彰・作品展示

第75回 茨城県社会福祉大会

開催日 令和8年1月20日（火）
場 所 ザ・ヒロサワ・シティ会館
顕彰者 45名



第75回茨城県社会福祉大会

（3）財源の確保

①社会福祉協議会会費

社協財源の基盤となる会費を各世帯や企業等に協力していただきました。

特別(大口)会費については、事務局長以下係長までの職員が再度各企業に訪問して協力依頼を実施しました。

(単位：円)

	令和7年度	令和6年度	前年度比
一般会費	9,252,130	9,682,935	430,805 減
特別会費	455,000	467,000	12,000 減
特別大口会費	3,250,000	3,370,000	120,000 減
合 計	12,957,130	13,519,935	562,805 減

②共同募金（赤い羽根、歳末たすけあい）事業の支援

茨城県共同募金会古河市共同募金委員会として、共同募金運動（赤い羽根募金、歳末たすけあい募金）、災害たすけあい義援金の募金活動を実施しました。

【実績額】赤い羽根募金 17,973,848円【R6年度 18,693,929円】
 歳末たすけあい募金 7,581,132円【R6年度 8,267,729円】
 災害たすけあい義援金 154,550円【R6年度 481,612円】
 （内訳）令和6年能登半島地震災害義援金 112,713円
 令和6年能登豪雨災害義援金 16,250円
 大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金 20,500円
 トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金 1,163円
 令和7年台風第8号に伴う災害義援金(沖縄県) 714円
 令和7年8月豪雨義援金(熊本県) 1,035円
 令和7年8月豪雨災害義援金(鹿児島県) 122円
 令和7年大分市佐賀関大規模火災義援金 1,553円
 令和7年12月青森県東方沖地震災害義援金 500円

歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律 9,000 円を配分しました。

【R6 年度配分金 対象世帯あたり一律 10,000 円】

※協力いただいた金額と申請件数によって金額は変動いたします。

	配分対象別	配分金額(円)	件数
1	満 70 歳以上のひとり暮らし高齢者	4,878,000	542
2	満 70 歳以上の高齢者のみ世帯	765,000	85
3	満 70 歳以上の高齢者が中学 3 年生以下の子どもを養育している世帯	0	0
4	要介護 3 以上の認定を受けている方のいる世帯	27,000	3
5	準要保護世帯の認定を受けている世帯	63,000	7
6	中学 3 年生以下の子どもを養育しているひとり親世帯であり、児童扶養手当を受給している世帯	126,000	14
7	障害者のいる世帯（身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳Ⅸまたは A、精神障害者保健福祉手帳 1・2 級、障害者年金 1 級・2 級）	396,000	44
	合 計	6,255,000	695

【R6 年度 6,990,000 円・699 件】

③その他の財源の拡充

1) 不要入れ歯回収事業（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり①ボランティア活動への参加促進

2) 寄附金の受け入れ（別記）

※基本目標 1（4）地域福祉活動のしやすい環境づくり②企業の社会貢献活動等の促進

3) ファンドレイジングの実施

地域福祉活動の推進のため、組み立て式の地域支えあい募金箱の配布や店舗への常設として、地域支え合い募金箱を設置しました。集まった募金については、指定された 2 層協議体へ払い出しを行いました。また、市内企業より地域づくり事業への指定寄付については、地域づくり事業全般に活用しました。

令和 7 年度募金箱の合計額 4,744 円

【地域支え合い募金箱設置店舗】

(株)ジョイフル本田 古河店

ウエルシア 古河鴻巣店



ウエルシア古河鴻巣店